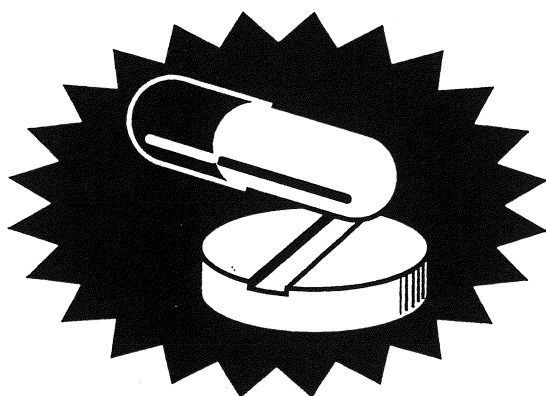


No more
薬害

薬害オンブズパースン・ タイアップ札幌 16周年記念講演

「子宮頸がんワクチン被害」 からの問題提起



薬害オンブズパースン会議は、薬害エイズ訴訟の弁護団と全国市民オンブズマン連絡会議の呼びかけにより、1997年6月に発足した民間のNPO法人です。医師、薬剤師、薬害被害者、弁護士、市民らで構成された会議体で、市民への医薬品に関する情報提供、厚生労働省や企業に対する公開質問や要望等を行っています。薬害オンブズパースン・タイアップ札幌は、薬害オンブズパースン会議のタイアップグループ札幌支部として1999年2月に設立された市民組織です。薬害オンブズパースン会議とともに市民の立場で薬害の発生を防止する事を目的とし、各種調査、研究、学習、各種イベントの開催などの活動を行っています。

今回の集会でとりあげる「子宮頸がんワクチン」は、2013年4月から定期接種となっていましたが、接種後に強い痛みや手足のしびれによる歩行困難、痙攣や記憶障害など多様な症状が報告され、現在定期接種の積極勧奨が中止されています。薬害オンブズパースン会議では、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会等と協力し、副反応被害の実態調査を実施し公表しています。今回の講演では、実際に調査に携わっている関口弁護士をお迎えし、被害の実態がどのようなものなのか？ 利益相反問題など、これまでの数々の薬害と似た問題がひそんでいるのではないかと市民の皆様とともに考えたいと思います。ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

◆講師◆ 関口 正人氏 (薬害オンブズパースンメンバー、弁護士)

●3月7日(土) 15:00～総会
15:30～講演会

講演前に15:00から第17回タイアップ札幌総会を行いますので、タイアップ会員および入会希望の方はご参加ください。

●北海道高等学校教職員センター
4階大会議室にて(札幌市中央区大通西12丁目)

●参加費500円

●お問い合わせ先/三浦 五郎(HMメディカル協同組合)
Tel. 011-782-9292

